

みなさんこんにちは【 T 】です☆

我が家の子ども達は夏休みの宿題をなんとかこなし、先日から2学期がスタートしました。先日、6年生長男の修学旅行が再延期となりました。先行き不透明ですが、この状況では仕方ありません。今回も、我が家の子育てエピソードを紹介したいと思います。

長男には吃音があります。3歳の頃から出始め、初めはあまり気にならなかったのですが、治まるどころかどんどんひどくなりました。書店に行き専門書を読んだり、インターネットを検索したりしてみましたが、効果的な改善方法は無く、原因も未だはっきりしていません。

吃音についてはこちら→【国立障害者リハビリテーションセンター研究所】

<http://www.rehab.go.jp/ri/depart/kankaku/466/2/>

伝えたいことがあっても言葉の初めがスムーズに出てきません。4歳、5歳と年齢を重ねても完全に治まることも無く、いよいよ小学校入学という段階になり、親の心配はピークに達しました。

「もし、話し方をからかわれたり、馬鹿にされたりしたらどうしよう・・・」

夫婦でそんなことばかり考える日々でしたし、周囲との「違い」に不安ばかり募りました。

現在は、だいぶ言葉の出方がスムーズになりました。家族もそのような状態を当たり前と認識していますし、学校の友人達も特にそのような長男をからかう子もいません。周囲の仲間に恵まれ、これには親も助けられました。特に治療やトレーニングをしたわけではありませんが、夫婦で唯一意識していることがあります。それは、吃音が出たとしても触れない、意識しないことです。吃音の症状を指摘されることが多くなると、自分がうまく話せないことを意識し、余計に話すことに不安を感じたり、吃音が出ることを恥ずかしく思ったりするようになるからです。

そんな長男は、今朝も「あ、あ、あのさ・・・」と吃音が出ていても、そんなことはどこ吹く風で、言葉に引っかかりながらも、好きなスポーツの話題や学校の友達とのことを笑いながら話していました。

吃音は一生の付き合いになると思っています。長男が本当に困った時、親としてどのように手助けしてあげられるのか、今から準備をしていきたいと思っています。【 T 】

☆メルマガへのご感想、アドレス変更・配信停止はこちらへ(^_^)/

kosodatem@pref.iwate.jp

★=====★

【発行】岩手県立生涯学習推進センター

【HP】 <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/manabinetiwate/>

【Twitter】 <https://twitter.com/manabinetiwate>

★=====★